



写真は「真田ちゃいんど」

## 第2回大収穫祭 I N 九度山が開催される

11月15日、16日の2日間にわたり行われた「大収穫祭 I N 九度山」。  
両日も朝はあいにくの雨でしたが、太鼓や踊りの熱気で雨雲は途切れて、  
昼には日が差し込みました。  
紀の国やっちゃんでは、町内外から多くの団体がステージで踊り、観客は  
たくさんの元気ももらっていました。

## ◎農産物直売ブースとフリーマーケット

農産物直売所や屋台などが、会場のまわりを囲み、中央ではフリーマーケットが開かれ、衣類、雑貨、おもちゃなどの品物がたくさん並べられていました。多くの来場者が立ち寄り、にぎわっていました。



▲富有柿、りんご、柿の加工品、野菜など、たくさんの品物を買って求めています



▲フリーマーケットの様子

## ■九度山町富有柿品評会審査結果

11月14日、入郷コミュニティ消防センターにおいて、第2回九度山町富有柿品評会が開催されました。

今回は38点の富有柿が出品され、8人の審査員により、色や形など外観による第1次審査で11点に絞られ、続く第2次審査では、機器による糖度の測定結果と、実際の試食による採点により、各賞が決定されました。結果は次のとおりです。



▲審査の様子

- 和歌山県知事賞  
井上靖雄さん（慈尊院）
- 和歌山県議会議長賞  
松村久隆さん（入郷）
- 九度山町長賞  
海堀哲司さん（入郷）
- 伊都振興局賞  
坂本佳久さん（入郷）
- 紀北川上農業協同組合代表理事組合長賞  
中尾榮三さん（九度山）
- 九度山町柿の里振興公社理事長賞  
元家秀詞さん（九度山）
- 九度山町建設業協会賞  
中西正道さん（河根）

品評会の表彰は、11月15日の『第2回大収穫祭IN九度山』の会場内で行われました。また、受賞された富有柿は、翌16日にチャリティー販売され、その売り上げは、すべて社会福祉協議会に寄付されます。



▲品評会表彰式

# 雨雲を吹き飛ばす祭りの熱気

## 第2回大収穫祭 IN 九度山

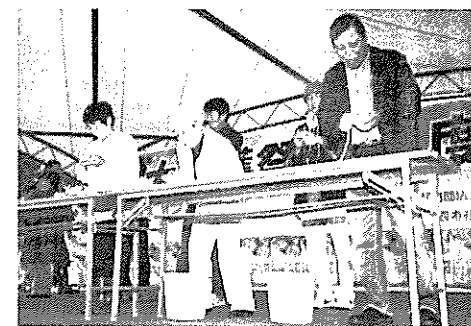
11月15日と16日、「第2回大収穫祭IN九度山」が入郷駐車場において盛大に行われました。会場内において、農産物などの販売ブースとフリーマーケットあわせて約90店が出店され、ステージ上では太鼓の演奏や踊りなど多くのイベントが催されました。2日間で約1万5千人が祭りの会場に足を運び、楽しい休日を過ごしていました。ここでは写真で祭りの一部を紹介します。

### ◎ステージイベント

ステージ上では、オープニングセレモニー、太鼓の演奏、踊り、ヒーローショー、ジャズダンスなどバラエティーに富んだイベントで会場が盛り上がりました。



▲とっても若い演奏家！（保育所太鼓）



▲柿の皮むき大会。1分間に柿の皮をどれだけ途切れずにむけるか。最長記録は117cmでした



▲大トリの真田太鼓。舞台と観客が一体となりました



▲新たなヒーロー誕生！フルサト戦隊クドヤマンの登場。これからの活躍に乞うご期待



▲やっちゃん踊りは2日間で4回公演がありました



▲子どもジャズダンス。軽快なダンスに観客から大きな拍手が起こりました



地域再生への道筋を講演

教育講演会 ～文化力と観光～文化は地域を再生させる～

11月10日、ふるさとセンターにおいて、くどやま教育協議会・町教育委員会主催による講演会が開催され、講師として、和歌山大学客員教授であり、著書やラジオでもおなじみの木津川 計さんに、大阪弁のやわらかな語り口で、文化力と地方の活性化について講演をしていただきました。

木津川さんは、「地域の格」を高める条件として、文化の蓄積があること、景観に文化性があること、多くの人に地元の情報を発信することの3点をあげられました。

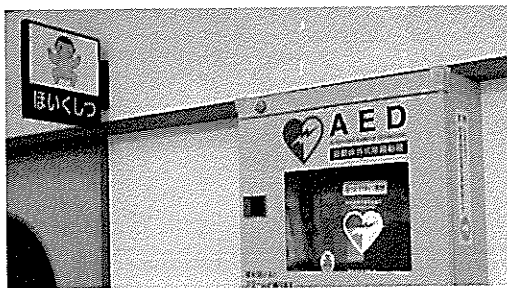
また、文化力とは『人間が人間らしく快適に生きていくために必要な文化的環境を守り、新しい生き方を創造する力である』と話され、『若者人口が少なくなっている今こそ、高齢者たちの知恵を出し合うことで、町を元気にすることができる』と会場に集まった人たちに訴えかけられました。和歌山県の風土と文化をどう活かすかについての話では、『地方が発展する手だてはたくさんあり、まだみんなが気づいていないだけだ。すばらしい観光資源が和歌山にはたくさんあるにもかかわらず、これまでは発信する情報が少なすぎたので和歌山の魅力が伝わってこなかった。物の豊かさと便利さの中にすっぽり浸ってしまっている今日、地域の魅力や価値は「近くて便利」よりも「遠くて不便」の中に感じるものである』と強調し、これから一層、文化力を活かした魅力ある地域づくりをしていく大切さを説いて講演を締めくくられました。



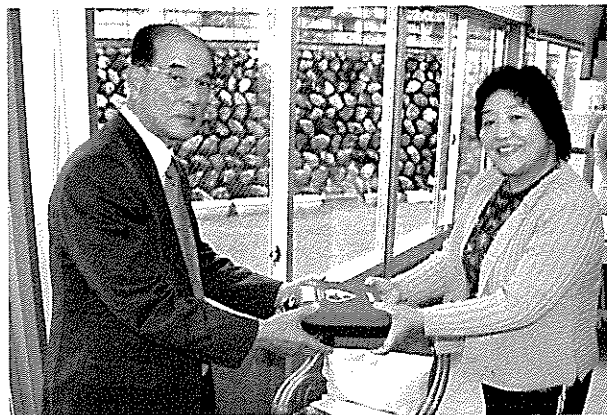
▲ユーモアをまじえて、わかりやすく語られました

九度山保育所にAEDが寄贈される

11月17日、九度山保育所に（福）和遊協・社会福祉事業協力会からAED（自動体外式除細動器）を1台寄贈していただきました。



▲保育室の前に取り付けられています

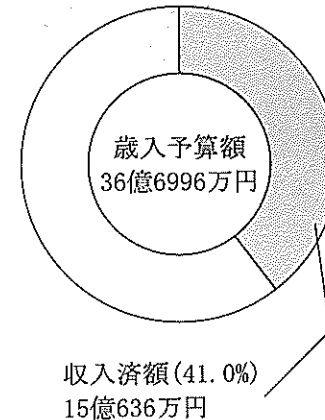


▲（福）和遊協・社会福祉事業協力会副理事長（左）から保育所所長にAEDが渡されました

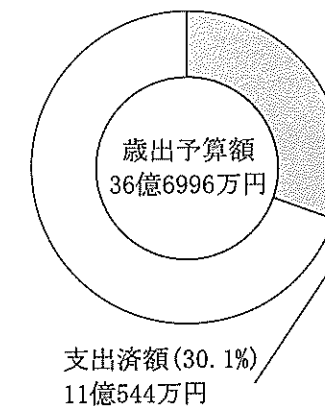
町の財政事情

町では、上半期と下半期に分けて、「町の財政事情」を公表しています。今回は、平成20年度上半期の財政状況をお知らせします。（平成20年9月30日現在）

地方交付税	67.5%	15億6078万円 (10億5340万円)
町債	2.9%	8億4785万円 ( 2480万円)
町税	67.2%	4億7227万円 (3億1753万円)
繰入金	0%	2億6511万円 ( 0万円)
県支出金	6.5%	1億5011万円 ( 976万円)
国庫支出金	5.7%	1億4303万円 ( 820万円)
利子割・地方消費税・自動車取得税・地方特例交付金他	58.4%	5910万円 (3450万円)
諸収入	44.2%	4757万円 (2101万円)
その他	29.9%	1億2414万円 ( 3716万円)



土木費	10.5%	8億8000万円 ( 9257万円)
公債費	46.7%	6億7756万円 (3億1631万円)
民生費	19.5%	5億8112万円 (1億1324万円)
総務費	43.7%	4億2744万円 (1億8683万円)
教育費	41.9%	3億2643万円 (1億3683万円)
衛生費	29.2%	2億9977万円 ( 8742万円)
農林業費	21.7%	2億2064万円 ( 4790万円)
消防費	59.7%	1億2450万円 ( 7439万円)
その他	37.7%	1億3250万円 ( 4995万円)



特別会計	会計別	歳入			歳出		
		予算	収入済額	執行率	予算	支出済額	執行率
(単位:万円)	国民健康保険事業	73,420	24,415	33.3%	73,420	34,391	46.8%
	老人保健事業	16,547	7,965	48.1%	16,547	8,576	51.8%
	後期高齢者医療事業	17,917	2,803	15.6%	17,917	6,235	34.8%
	介護保険事業	63,980	24,113	37.7%	63,980	26,028	40.7%
	簡易水道事業	19,163	2,823	14.7%	19,163	6,254	32.6%
	下水道事業	21,232	1,968	9.3%	21,232	7,381	34.8%

## 芸術の秋を堪能

～第45回文化祭～

11月2日と3日に、町文化祭が九度山町中央公民館で開催されました。会場には芸術の秋にふさわしい作品が多く展示され、訪れた人たちは、その出来ばえに感心していました。また3日には演技発表会があり、日頃の練習の成果を観衆に披露し、その演技のすばらしさに、たびたび拍手が起こりました。

## 園児が「火の用心」を呼びかける

火災予防運動にちなみ、町内の幼稚園児による防火パレードが行われました。はっぴ姿の園児は、伊都消防組合の職員や消防団員の皆さんとともに、拍子木を打ち鳴らしながら、町の人たちに「戸締まり用心、火の用心」と、元気よく呼びかけました。

11月4日に九度山幼稚園児が、5日には河根幼稚園児がパレードを行いました。



▲九度山幼稚園の園児



▲河根幼稚園の園児



▲演技発表会での1コマ(琴と尺八合奏)

## 秋の大台ヶ原を楽しく歩く

第14回エンジョイウォーク

11月9日の第14回エンジョイウォークに約30名が参加しました。降っていた雨も止んで天候は回復し、澄み切った大気の中で、美しい大台ヶ原の景色を眺めながら、約10kmを歩きました。眼下には雲海が広がり、その壮大な光景に、参加者からは感嘆の声があがっていました。



▲背景には雲海と海が見えます

## 難病を乗り越え 夢や希望の大切さを伝える

～人権講演会(トーク&コンサート)が開かれる～

11月6日に九度山中学校体育館で人権講演会が開催され、町内の中学生、老人大学生や地域の方々などが参加しました。

舞台ではESPERANZA〔エスペランサ〕の奥田良子さん(フルートとオカリナ)と夫の奥田勝彦さん(ベース)の2人による演奏とともに、良さんが自身にふりかかった苦難との闘いと、それに打ち勝ちながら今に至る経験を語ってくれました。

良さんは、21歳のときに厚生労働省が認定する難病「クローン病」を発症し、高校時代から描いていたフルート演奏家への夢をあきらめざるを得なくなりました。そんな大きな挫折感に苦しみながらも、周囲の人たちの支えや、がんばれ、がんばれという皆さんの後押しに勇気づけられ、夢の実現に向かって再び演奏活動を開始し、今こうして大勢の前で演奏ができるようになりました。そして難病や障害をもった人たちについて広く知ってもらいたいとの願いを込めてコンサート活動を続けています。

また、『夢というのはあきらめなければ必ずかなえられる。誰でも人よりできる才能は1つや2つはあるので、あきらめずそれを夢に結びつけば、きっとかなえられる』と、会場に集まった人たちに訴えかけました。

演奏は、誰もが一度は聞いたことのあるクラシックやポップスなどの音楽で、さわやかに心に響きわたりました。



▲エスペランサとはラテン語で「夢」「希望」

## スポーツ

中学生がすばらしい成績!!

伊都地方中学校秋季新人大会において、九度山中学校が次のとおり優勝しましたので紹介します。

- (団体の部)
  - バスケットボール 女子
  - バレーボール 女子
  - ソフトテニス 男子・女子
  - (個人の部)ソフトテニス
    - 男子 中谷・玉置組
    - 女子 海堀・辻組
- さらに、県大会において、次のとおり優秀な成績を収めました。
  - ソフトテニス 男子 優勝
  - 女子 準優勝
  - 中谷・玉置組 優勝

## 水泳がんばっています

九度山小学校5年生の西畑希君が、水泳大会で次のとおり好成績を収めました。

●紀の川市年齢別水泳選手権

(10月26日・紀の川市)

10歳以下

200m個人メドレー 優勝

●和歌山地域BC級大会

(11月2日・和歌山市)

10歳以下

50m自由形 優勝

50m背泳ぎ 優勝

そのほかの種目でも、優秀な成績を収めました。



▲西畑希君



## 橋本市から合併協議に 対する回答を得ました

町が8月21日、橋本市に対して合併協議の申し入れを行った件について、橋本市からの回答を得ました。

内容としては、広域合併の必要性は認識されているものの、先の高野口町との合併後の新市のまちづくりにおいて課題が山積しており、現時点では合併協議を開始する状況にはないと回答がありました。

今回の結果を受け、本町としましては、国・県が推進しております平成22年3月末までの市町村合併の道が事実上なくなったことで、単独町としての道を歩むこととなります。

今後、これまで以上に努力を重ね、皆様とともに「元気なまち九度山」を目指して参ります。どうかこれからの「まちづくり」に一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

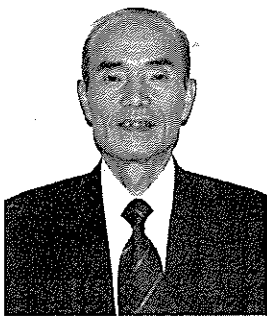
九度山町長 岡本章

## 表彰

### 秋の叙勲

平成20年秋の叙勲で、岡秀晃さん（九度山）が、晴れの「瑞宝双光章」の栄に輝かれました。岡さんは、昭和37年に南海電気鉄道(株)に入社以来、40年の長きにわたり、鉄道業務の第一線で活躍されました。堺東駅での勤務から鉄道マンとしてのキャリアが始まり、平成12年からは堺東駅の駅長に就任。また、橋本駅、河内長野駅の駅長をも歴任され、乗客の安全を守ってこられました。

岡さんは、「多くの方々のお力添えで、身に余る章を受章させて頂きました。『安全第一』と『鉄道は地域とともに』をモットーに務めてきましたが、これからも地域社会に少しでも貢献できれば・・・」と話されました。



▲岡 秀晃さん

## 社会福祉施設功労者

### 表彰

母子生活支援施設わかくさの母子指導員、庵上和美さん（九度山）が、長年母子福祉に貢献された功績により、11月7日に、東京で開催された平成20年度全国社会福祉大会において、社会福祉施設功労者表彰を受けられました。

庵上さんは表彰について、「母子福祉は、職員みんなが協力しないとできない仕事なので、わかくさの職員皆さんにいただいた賞だと考えています。最近では母子をめぐる難しい社会問題があり、今日では母子家庭の人たちにとって、母子生活支援施設はなくてはならない施設です。」と話されていました。



▲庵上和美さん

## ■まちなかの案内板

新しくまちなかの文化観光施設の案内板が設置されました。

これは九度山町まちなか活性化協議会がP&R事業の一環として設置したものであり、場所は、松山常次郎記念館、真田庵、真田古墳、対面石、大石順教尼の館の5ヶ所で、名所の詳しい説明と、次の名所までの案内表示があります。

まちなかを訪れた観光客の“道しるべ”となり、楽しく歩いていただくことができます。



▲真田古墳前の案内板